

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：村松英昭 副会長：小宮弘一郎
幹事：後藤 功 副幹事：青島 彰

第1712回

<ソング> 四つのテスト
<ソングリーダー> 竹田 勲君



2006-2007年度
RIテーマ

率先しよう

ウィリアムB. ボイド



岩本山より富士山

写真提供：山田昭雄君

会長報告

村松 英昭君

ここ数日雨模様の日が続いています。せっかく
開花した藤の花も雨に打たれさびしそうです。

今日は食育についてお話しいたします。食育に
ついて書かれた冊子がありましたので、そこより
抜粋してお話します。

2005年に「食育基本法」が成立し、食育は
国民運動になろうとしています。この背景には、
現在日本が直面している食に関するいろいろな問
題があります。日本は今生活習慣病が増えていま
す。また、60%の食べ物を輸入しながらその3
分の1を残飯として捨てています。世界の食糧事
情にあまりにも無関心です。家庭での食もおろそ
かになり、その問題は、子どもの心の部分にも及
んでいます。食と食文化の荒廃ぶりは、今や目を
おおうばかりです。そこで家庭で実践してほしい
食育の3つの柱は1.選食力をやしなう。2.食
事作法を身につける。3.地球の食を考える、こ
とです。すなわち、健康を維持する食べ物をきち
んと選ぶ力を身につけ、楽しい家族の食卓で作法
やマナー、正しい食習慣を身につけ、受け継ぎ、
世界の食糧事情、環境に目を向けることです。

- 。選食力とは、食の安全性を見抜き、自分を健康
にしてくれる食べ物を選ぶ力のことです。食べ
たいものを何となく口にするのではなく、旬の
食材や生産情報、栄養素の組み合わせなどのこ
とを知って食べることです。

「人に良い」と書く「食」の意味を今一度じっ
くり考えることから始めましょう。

- 。食事作法を身につける

「いただきます」も箸の使い方も美しくできて
こそ日本の食事です。作法やマナーぬきの食育
はありません。

「いただきます」は生物の命をいただいて生き
ることへの感謝の気持ちです。いただきさせてい
ただきますということをする民族は日本民族しか
ありません。西洋では神に祈ることはあっても
食べ物に対する感謝の気持ちを表すのは日本
民族だけです。

箸の正しい使い方、食べ物を粗末にしない事、
大人の手伝いをする事、昔の子どもはそうし
たことを家族の食卓で、自然に学んでいました。
現在でも、できるだけ家族で食卓を囲み、楽し
い家族の団らんの中で子どもを育てましょう。

- 。地球の食を考える

世界に眼を向け、毎日の食を地球サイズで考
えてみましょう。すると簡単に捨てることはでき
ません。

日本の食糧自給率は40%です。先進国で最低
の水準です。この原因は、日本人の食生活が欧
米型に変わり、畜産物や油脂類の消費が増え、
国内で対応できなくなったことも1つの原因で
す。世界では8億人を超える人が食糧不足に苦
しんでいます。何を食べたら良いか、どんな食
生活をしたら良いか、一人ひとりが考えなけれ
ばなりません。

食べられる事に感謝し「もったいない」の心で、

地球の食を思いやりましょう。

今後、食育については、考えていかなければいけない重要な問題になると思います。明日の日本のために、バイオエタノールの問題もあり、自動車が作物を食べる現実をどうしましょうか。

来る4月29日は、少年サッカー大会の開会式が藤枝総合グラウンドであります。会員の皆様の多数の参加をお願いいたします。開会式は8時30分からです。

■ 幹事報告

後藤 功君

- ・白山RCより創立40周年記念式典及び、記念祝賀会出席への礼状が届いております。
- ・2007年能登半島地震に関する石川県災害本部より義援金に対する礼状並びに、受領証が届いております。未納の方はお願いします。
- ・地区より、能登半島地震災害義援金協力に対する礼状、並びに2610地区よりの礼状報告が届いております。
- ・米山梅吉記念館より、米山梅吉記念館春季例祭開催のご案内が届いております。
- ・地区ガバナーエレクト事務所より、米山梅吉記念館春季例祭出席へのご依頼が届いております。
- ・地区より「地区大会記念誌」が届いております。
- ・国際ロータリーロータリー財団より、クラブの一人当たりの寄付が100ドルを達したことで、クラブバナーが届いております。

■ 出席報告

青島 彰君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
26 / 39 66.66%	29 / 39 74.36%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○池ノ谷君 ○北村君 ○杉山君 ○水野君
○村松宏君 ○山田君 浅川君 板倉君 鈴木舜君
仲田晃君 宮崎君 望月晃君 望月志君

■ 地区協議会報告

次年度会長

小宮 弘一郎君



目標

- クラブ会員の退会を防止し、新会員を増やす。
- ロータリー財団への支援を増やす(プログラムへの参加と財政支援の両面)
- 効果的な奉仕プロジェクトを増やす(地元と海外の両方)
- クラブ・レベルを超えて奉仕できるクラブ会員の数を増やす。
- 例会出席率を増やす。
- クラブ会員の男女比率を改善する
- クラブ会員の平均年齢を低める
- クラブの多様性を改善する(多様なクラブ会員が集まるようにする)

次年度幹事

青島 彰君



4月22日沼津北RCのホストによる地区協議会に出席しました。

クラブ幹事要覧「役割と責務」のなかでクラブの長所と短所を見極め、クラブ管理運営の最善策をいかに講ずることが出来るのか最大限の努力をすることと、幹事の心得的役割が示されています。管理運営についての責任の重さを理解し1年間会員のご指導をいただきながら務めたいと思います。

当クラブの大きな問題点は言うまでもなく会員数の減少でしょう。これ以上の減少が進んだ場合クラブ運営そのものに与える影響は計り知れないものがあります。会長予定者の大きな目標でもある会員増強をクラブ会員全員がこの難題に取り組

み成果が上がるよう努力したいと思います。

IT推進について当クラブはかなり先行していることもあり、特に述べることはありません。しかしながら今後の情報伝達がEメールによって行なわれることは見えています。会員のEメールへの理解を深めることも重要な課題と考えます。

会員増強委員会

委員長

松葉 隆夫君



1. 職業分類をよく理解する

クラブの質の向上を目指す

評価し理解する

協調しよう

導きましょう（品格、理解）

助言をしよう（アドバイザー）

教育をしよう（若返りをしよう）

退会防止をしよう

クラブが地域社会に認められる事が大切

楽しいクラブ作りに務める

クラブに入会するのが大変だと思わせる様な
クラブ作りをする

- ・ クラブの活性化（会社訪問）
- ・ S E E 指定席にする 月1回
- ・ 社会奉仕、地域社会に貢献する（ロータリーを認識させる）
- ・ ローターアクト、インターアクトに参加する

2007～2008年度 目標

5名以上の入会（会員全体で努力する）

■ テーブルメイトDグループ卓話

青島 克郎君



『私の趣味パート2 ラジコン』

私は幼い頃から機械いじりが大好きで家中の時計や機械を分解しては父親に叱られていた記憶があります。小学生高学年から中学生の頃は鉄道模型を楽しみ、高校生ではワイヤーコントロールのエンジン模型飛行機やまともには飛んだことのない手製の無線機を積んだラジコン飛行機で悪戦苦闘していました。その後暫くは遠のいていましたが20歳後半になり、大井川フライングクラブに参加しラジコン飛行機に夢中になり競技会などにも出場したりし15年ほどラジコンに明け暮れましたが仕事で時間がとれなくなりやめてしまいました。それから15年ほど経過し昨年の夏に再び挑戦することを決め古巣の大井川フライングクラブに戻り活動を再開しました。以前と比べてあらゆるラジコン機器の性能が格段に向上しその可能性が大きく変わってきました。ラジコンにも車や船など幅広い物がありますがなんと言っても空物と言われる飛行機やヘリコプターの醍醐味は他の物とは違います。

しかし、空物ラジコンの愛好者の年齢層は高く若い人達が増えませんがそれは操縦の習得が難しく消耗が激しくお金がかかるという事と飛行場所の確保が困難だと言うことです。

ただし、これらは飛行場を持つ愛好クラブなどに所属してベテランから指導を受け徐々に上達してゆけばお金と時間はかなりセーブできます。パソコンのフライトシュミレーターを利用することでさらに効率的になるでしょう。

1970年にドイツのシュルター氏が世界初のラジコンヘリコプターの飛行に成功し、当初は短時間のホバリングが精一杯だった物が現在では驚くほど高性能で安定したものとなり一般に普及しました。

航空機のラジコンの主流はプロペラ飛行機とヘリコプターが主流ですが楽しみかたは幅広く競技を目指す人、スケールモデルを楽しむ人、オリジナルの模型に創意工夫する人等々様々です。動力も昔から親しんできたグローエンジン、大型ガソ

リンエンジン、タービンジェットエンジンそして
目覚ましい電池の発達で実用域に達した電動モーターと非常に多彩になってきました。

願わくば若い世代の人達がバーチャルばかりの世界でなく、色々工夫しながら物を作ったり油にまみれて遊びながら科学にふれるということに興味を持ってくれば嬉しく思います。



(担当 / 櫻井)